



Chateau Haut Marbuzet 1970

シャトー・オー・マルビュゼ

所有者 GFA des Vignobles Henri Duboscq et Fils
オペレーション サンテステフ

シャトー・オー・マルビュゼは、ボルドーのジロンド河左岸、オー・メドック地区にあるサンテステフ村に位置しています。ボルドー市内から北へ約45kmのところにあります。オー・マルビュゼは2級格付けのシャトー・コス・デストウルネルとシャトー・モンローズの間位置しており、このことから大変素晴らしい立地条件であることがおわかり頂けるかと思えます。また格付けはされていないものの今日では、格付けシャトー以上の評価がなされており、価格に対する味わい、またその長期熟成に対するポテンシャルは大変素晴らしく、さらにオー・マルビュゼの古酒を見つけるのはなかなか困難になってきています。

シャトーの歴史は古く、18世紀まで遡ります。当時、サンテステフ村のマルビュゼという区域は2つの家系に所有されていました。ひとつは、貴族であったAlexandre de Segur(アレクサンドル・ド・セギュール)家で、その領地は現在、Chateau Le Crockとしてシャトー・レオヴィル・ポアフェレやシャトー・ド・マルビュゼを所有するCuvelier(キュヴァリエ)家に所有されています。もう一家は、Sylvester Fatin(シルヴェスター・ファタン)家です。1770年、彼は遺言として娘達に所有していた領地を譲りました。それを1825年、MacCarthy(マッカーシー)氏が購入、彼はいくつかのワイン商を経営し、またボルドー商工会議所の会長も勤めました。そして1854年、ナポレオン法(相続財産に対する法律で、個人の所有物の大半はその子供に同等に分け与えなければならず、時代と共にそれは細分化されていった)により17区画に分譲され、そのいくつかの区画がシャトー・オー・マルビュゼとして存在することになりました。その後、所有者となったHerve Duboscq(エルヴェ・デュボスク)氏は、少しずつ分譲されたマッカーシーの領地を買い戻し、それには、Chambert Marbuzet、Tour de Marbuzetの区画を含み、さらに1987年にはChateau MacCarthyを購入しました。1962年より彼の息子であるHenri(アンリ)が加わり、また今日、彼自身の息子であるBruno(ブルーノ)とHuges(ウゲ)も経営に携わっています。

※ 現在は廃止となりましたが、クリュ・ブルジョワ制度(1855年のメドック地区格付け以外)では、最上級である【クリュ・ブルジョワ・エクセプションネル】として たった、9シャトーのうちのひとつに選ばれました。

現在は、トップ・キュヴェにChateau Haut Marbuzet、セカンド・ワインとしてChateau MacCarthyを造っており、また他の区画からChateau Chambert MarbuzetとTour de Marbuzetを生産しています。

シャトー・オー・マルビュゼ1970は、約40年の熟成を経てもしっかりと感じる、カシスやブラックチェリーなどの黒系果実が主体的。ミントやバジルなどの香草。カフェやシガーボックスなどのニュアンス、また杉の木や動物の皮、干しイチジク、ジロール茸などの高貴なきのこなど様々な要素を感じ、それらがこのワインを複雑な味わいに演出してくれています。また熟成により全体のバランスもとれ非常に柔らかな口当たりではありますが、しっかりしたタンニンを感じそれが全体の味わいを構成する様々な要素の軸としての役割となっており、ボルドー左岸らしい男性的、且つ奥深い味わいを感じて頂けることかと考えます。熟成したボルドーワインの魅力溢れる1本です。

参考情報

土壌 砂利質、粘土質
栽培面積 61ha
栽培比率 50% カベルネ・ソーヴィニオン、40% メルロー10% カベルネ
平均樹齢 30年
栽培密度 9,000本/ha
収穫 手摘み 選別
醗酵・マセラシオン 21-28日(コンクリートタンクにて)
樽熟成 18ヶ月
収量 平均:45hl/ha
年間生産量 約360,000本

s.a.r.l.Trente-Trois

39, rue Huguerie, 33000 Bordeaux, FRANCE Email:33@trente-trois.fr Website:www.trente-trois.fr